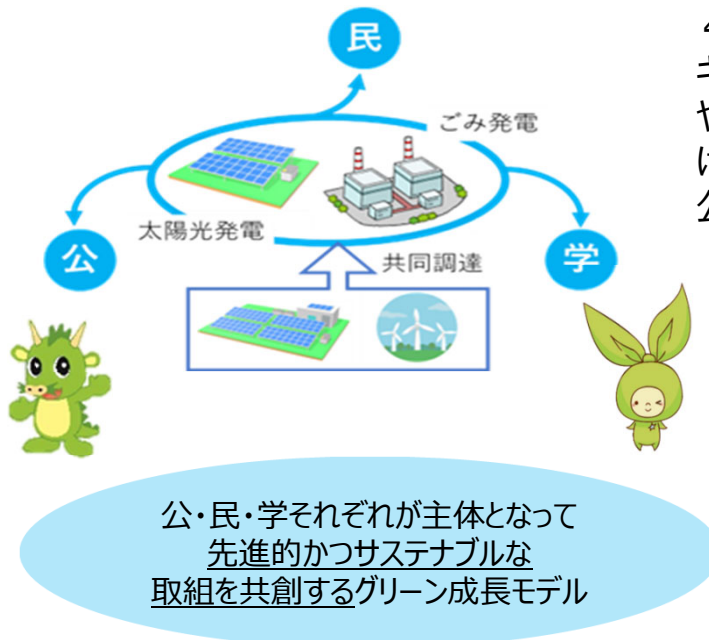
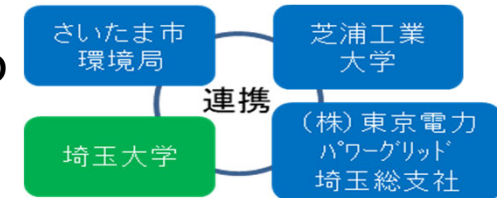


## 1. 地域連携の好事例

### 「脱炭素先行地域」の取組推進～さいたま発の公民学によるグリーン共創モデル～

「さいたま発の公民学によるグリーン共創モデルの実現」をテーマに、さいたま市、埼玉大学、芝浦工業大学、(株)東京電力パワーグリッド埼玉総支社の4者で環境省第1回脱炭素先行地域へ共同提案を行い、2022年4月に26地域の一つとして選定された。



4者の連携により、2030年度までにさいたま市域における公共施設や大学キャンパス、ビジネス・商業・住生活エリア等を対象に、それぞれが有する知見や地域資源（アセット）、デジタル技術などの先進技術の最大限活用に向けた連携・共創を図り、地域循環共生型の都市エネルギーモデルの構築、公・民・学の脱炭素化の実現に向けた取組を推進していく。

#### 大学における主な取組

- ▶キャンパス内への太陽光発電パネル・蓄電池の設置
- ▶グリーン電力等の共同購入検討
- ▶地域・学内における脱炭素に関する啓発活動  
→2022年11月15日に4者による「脱炭素先行地域キックオフシンポジウム」を実施予定
- ▶公民学連携による脱炭素関連の新技术創出・実用性評価
- ▶企業との共同研究・NEDO等プロジェクトへの参画によるCO<sub>2</sub>回収・再資源化のための要素技術開発

## 埼玉グリーンインフラSDGs研究会 (2021年7月19日発足)

埼玉大学産学官連携協議会の下に発足。同協議会は、平成12年に県内の経済団体と埼玉大学が発起人となり、会員企業等と埼玉大学の研究を有機的に結びつけ、地域産業の一層の発展を図ることを目的に設立。現在の会員数は約230社。埼玉大学オープンイノベーションセンターが事務局を担当している。

構成：

埼玉大学・民間企業9社（うち県内企業6社）・NPO・  
日本技術士会埼玉県支部・個人参加

目的・目標：

地域の特性に合致した樹木や土壌特性などをはじめとした**グリーンインフラ**並びに**それらの活用による地域振興策をSDGsを見据え研究**する。  
令和4年度は新たな森林資源の活用による林業再生支援や都市近郊耕作放棄地の再生に向けた議論等、**行政も参加する活動を推進**する。



カエデ植林・メープル生産事業支援(秩父市)



作物病害抑制機能を有する牛糞堆肥の生産(提案)

## 2. 地域連携における課題

- ◆これまで、地域再生に向けた様々なプラン及びコンセプトは提示されているが、実現の道のりは遠い。中長期的ビジョンを描くも、**地域連携の継続性に難しさがある**。
- ◆ゼロカーボン化の側面では**産学官連携**は十分な状況とは言えず、今後、大学の温暖化関連の専門家と企業、地域との連携を深め、ゼロカーボン化に向けた対策を考案していくことが求められている。

## 3. その他特徴的な取り組み

自治体・NPOとの協働：減少する湿地と県の花・サクラソウを始めとする希少種の保全

1. NPO荒川・江川エンハンスネイチャー(上尾市)と湿地保全活動を継続中\*
2. 国指定天然記念物・田島ヶ原サクラソウ自生地(さいたま市)の保全指針の提案
3. 国指定天然記念物・宝蔵寺沼ムジナモ自生地(羽生市)の保全指針の提案



\*湿地管理活動・自然観察会の実施

## 温室効果ガス (CO<sub>2</sub>) 排出量削減

- 環境マネジメントシステムを構築し、温室効果ガス (CO<sub>2</sub>) 排出量を削減

－ 2030年度目標 －

2019年度から11%削減  
(毎年度対前年度比1%削減)

## SDGsに貢献する人材の育成

- SDGs目標(1,5,7,10,13,16)に関連する科目数を増加

－ 2030年度目標 －

2021年度から62%増加  
(74科目 → 120科目)

## 「埼玉版SDGs」推進への協力

- 「埼玉県SDGsパートナー」登録
- 埼玉県が推進する埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム運営協議会に参画



## 「自治体のためのSDGsプログラム」(2021年)

人文社会学研究科(経済経営系)の教員を中心に、埼玉県内自治体のSDGs推進に向けた政策立案の準備サポートに関する教育プログラムを実施し、温暖化対策やエネルギー問題に関連する知識の普及、SDGsに関する県内のネットワーク作り貢献。



## 4. 地域ゼロカーボンワーキンググループへの意気込み・積極的な一言

令和4年度に発足した理工学研究科博士前期課程「**地球環境における科学技術の応用と融合プログラム**」では、広い視野から様々な社会の課題解決法を探ることを念頭に、教育・経済学で扱う学問も取り入れ、**実務家教員も採用**し授業や演習にて**地域ゼロカーボンの実現**に向けた議論を深めている。

本WGでは、自然環境を保全しながら地域としてできる温暖化対策に関する最新情報を更新、共有するとともに、地域と協力してゼロカーボン化に取り組んでいきたい。



未来予測のためのデータ解析学演習



農作物栽培技術演習風景

融合プログラムでは、様々な演習から高度な分析技術まで幅広く学ぶ